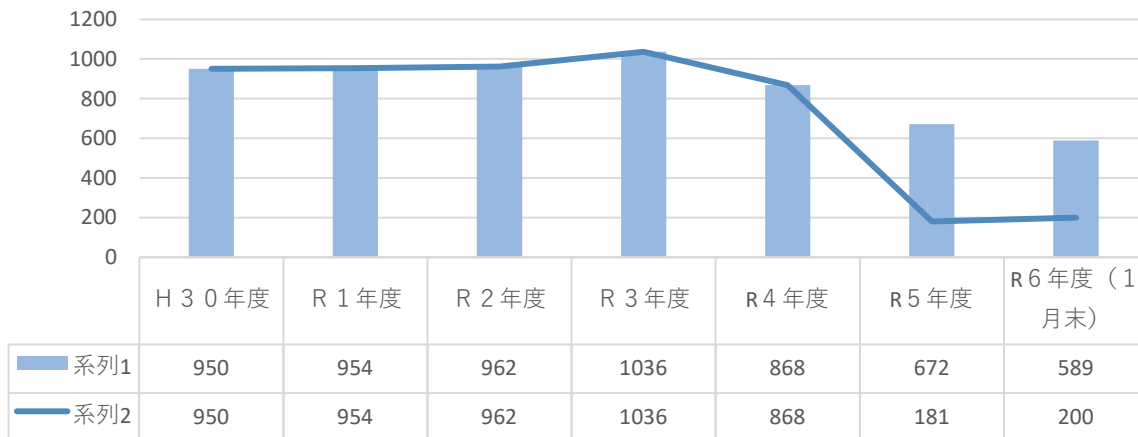


自立支援にむけた介護予防ケアマネジメント促進事業

- 事業 ①自立支援を目的としたケアマネジメントに基づいた支援の推進を図る。
- 目的 ②高齢者が家庭内で役割を持ちつつ、社会活動へ参加することを促進する。
- ③高齢者の生きがいや自己実現を支援し、QOLを向上する。

提出プランとプランチェック数の経年変化



事業対象者、要支援 1・2 の方のプランで、訪問・通所リハビリや訪問看護等専門職による支援を定期的に受けている物以外の全数プランの提出をいただいている。令和 4 年度から安定者に限りプラン更新時期を 1 年としたこともあり急増していた提出プラン数は抑えられている。

令和 5 年度から提出プランの中からランダムに選定したプランを複数の目でプランチェックしている。

給付の適正化も含めた視点を持ちながら、過度なサービス利用により自立支援を抑制していないか、地域のサービスに繋げることはできないかといった視点で行っています。

資料 3 の抜粋

		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
区分		(R3.3)	(R4.3)	(R5.3)	(R6.3)	(R7.1)
①事業対象者		450	366	313	302	310
②要支援	要支援1	309	324	346	422	432
	要支援2	479	466	503	570	604
	計	788	790	849	992	1,036
総合事業	④総合事業通所介護	195	191	227	272	287
	⑤おでかけデイサービス	140	113	108	110	129

事業対象者と共に総合事業通所介護が急増していた令和以前から比べ、令和元年以降は約200人台をキープしていた。令和5年度以降増加がみられているが、これは高齢者の増加による自然増と考えられ適正範囲内と考える。